

西加積地区の主な提言等と回答要旨（H27春に開催の「市長と語る会」で）

提言等の項目	H27春に開催の「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
① 児童館の跡地利用	町内会の域内で新しい児童館整備が進んでいるが、既存の児童館の跡地利用が気がかりだ。過去には、使用されなくなった建物に不審者が住みついたり、やっかいな人々のたまり場となったこともある。とりわけ、行田公園の林の中にあり、犯罪の温床になる危険性が高い。	何年何月までと、はっきりした期限は申し上げられませんが、早めに取り掛かり、しっかりと対処したいと考えています。
② 行財政改革	市が取り組んでいる行財政改革の具体例を何点か挙げてほしい。	滑川市では行財政改革に長年取り組んできましたが、永遠のテーマです。人員や事業、予算等の合理化・最適化は、これ以上行うのが困難なほど推進したので、今後は質の向上を重視していきたいと思えます。市民の皆様から「市役所は変わったなあ」と評価していただける窓口対応など、より高いサービス提供へ邁進します。行財政改革の現状は市広報誌や市ホームページ等で随時、発信しています。
③ 遊歩道	遊歩道で、「いのみ公園」から右折して上市川堤防へ至る箇所だが、私有地に入る人がいるので「右折」を示す看板が必要。もう一点は、上市川堤防で、温かくなると、草が繁茂し、アスファルトが隆起する箇所がある。子ども達が転落などしたら大変であり、点検してほしい。	看板についてはデザイン案まで頂き、ありがとうございます。すぐ設置する方向で頑張りたいと思えます。また、アスファルトについては、要望書を受け、現状を確認したところ、ご指摘のとおりでした。これまで除草剤を撒いて対応してきましたが、効果が薄かったようですので、安全確保のため、補修に向けて対応したいと思います。
④ 旧8号	昨年もこの場でお願いした、大丸石油から浅野モータースにかけての旧8号で、土手が崩れやすい件だが、一体どうなっているのか。	昨年2月28日付で地元からご要望を伺い、同4月に県に要望書を提出しました。県の言い分では「予算確保の問題があるが、歩道整備を含めて検討したい」とのことでしたが、予算の関係上、まだ手つかずなのが現状です。担当する県新川土木センターは「出来る限り頑張る」としていますので、市も可能な限り足しげく通い、引き続き実現に向けて、強く要望していきます。
⑤ 一次避難所の公園	昨年も指摘したが、多くの町内会が第一次避難所に指定している各住宅団地内の公園について、電気や水の設備が無い。同様の公園が数多く、予算の都合で難しいという言い分だが、話が出てから2年も経つ。人命に関わる問題でもある。そういう公園の数自体、市は把握していないのではないかと。公園には大概ケーブルテレビのための電柱がある。これらに街灯を付けることも技術的には可能だと思う。	都市公園については十分把握していますが、残念ながら、住宅団地にある、いわゆる「開発公園」については、調査不足です。遅ればせながら、明日からでも、すぐに把握に努めます。また、設置については、今後の検討課題とさせていただきます。
⑥ 豪雨対策	豊富産業から西加積接骨院の間で、集中豪雨のたびに水があふれるT字路があるので、市で対策を練ってほしい。	先日、現地を確認し、柵の流入口を広げるため既に業者を手配済みです。
⑦ 通学路	西部小保護者は長年、通学路歩道のガードレールの整備を希望してきた。高額で難しいなら、市議会でも提案されたように、歩道部分にペンキを塗り、スクールゾーンを明示すべきだ。青く塗れば「キラリンロード」などと銘打てる。標識や、歩行者・自転車の通りを分離した歩道、犯罪を抑止する青色の街灯など色んなアイデアが保護者の間で出ている。ぜひ西部小校区をモデル地域とし、アイデア実現に協力してほしい。	市内にはペイントを施した道路や歩道は少ないですが、東福寺野自然公園内には「スピード落とせ」と青色塗装を施した箇所があります。ただ、こういう塗装は、実は結構費用がかさむものであり、すぐに実施するとは申し上げられません。一つの良いご提案として、受け止めさせていただきます。
⑧ 日医エスポーツアカデミー	近隣住民が愛着を寄せる日医エスポーツアカデミーについて、隣県の方も多く利用していると聞き、大変嬉しい。そこで、市の考える、さらなる利用拡大に向けた今後の課題を聞きたい。	具体的な年間利用者数は即答できませんが、土日は各種大会や練習等で予定が埋まり、平日も練習等が多く行われ、間違いなく高い利用率で推移しています。開催イベントも、県レベルの大きなものが多く、県のプロサッカーチーム「カタレ富山」も練習場として積極活用するなど、富山のサッカー拠点として機能しています。フットサルも盛んです。今後は県内の高校などに、セミナー施設やレスリングの練習場としても大いに活用してもらい、隣接する「いのみ公園」やウォーキングコースの利用者がサッカー観戦を行うなど、相乗効果による「にぎわい創出」を期待しています。平日の日中、近隣住民に施設を開放することも視野にあります。

西加積地区の主な提言等と回答要旨（H27春に開催の「市長と語る会」で）

提言等の項目	H27春に開催の「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑨ 市道の規制速度	日医エスポーツアカデミーの横を富山市に向けて走る市道について、高校生の自転車がよく通るので危ないと感じており、制限速度を現状の50キロから40キロに変更してほしい。	速度規制や標識については、県公安委員会の管轄です。滑川警察署を通じて、市側から要望をしていきたいと思っております。
⑩ 防災無線のデジタル化	日医エスポーツアカデミーは海岸に近く、津波対策などが心配だ。その際、防災無線の役割が重要だ。防災無線のデジタル化で、各消防団のアナログ無線が聞こえなくなるとも聞いている。防災無線は大丈夫か。	消防無線のデジタル化に伴い、各分団に一斉放送していたアナログ式の無線は、聞こえなくなります。また、防災無線については、アナログ式の設備はまだ耐用年数があり、また、デジタル化で飛躍的に聞こえやすくなるものでもありません。それだけでなく、デジタル化すると、ご家庭で購入いただいた防災ラジオが聞こえなくなりますので、アナログ式を継続利用します。
⑪ 地方創生	地方創生に関する滑川市の取り組み状況を知りたい。庁内にプロジェクトチームはあるのか。また、市民の中には博識な人や様々な分野の専門家もいる。役人だけで計画を進めずに、市民目線を取り入れてほしい。	平成27年度予算と平成26年度3月補正予算をもとに、企業立地の推進や子ども第一主義に基づく施策、安心して子どもを産み育てられる街づくりのさらなる展開を図り、労働者や子育て世代の転入増や、固定資産税・法人税の増収につなげる方針です。地方創生の施策を進め、さらに10月までに地方総合戦略も策定し、平成28年度予算に反映します。戦略策定会合には有識者や専門家だけでなく公募の市民にも加わっていただく方針で、この「語る会」の場でもご意見等も反映します。
⑫ 消防無線デジタル化	火事が起きてサイレンが鳴らなくなったと聞いた。消防団OBとして、とても心配である。	消防無線のデジタル化に伴い、アナログ方式の消防団各分団の一斉放送が鳴らなくなりました。実際には、何千万円かコストをかければ、鳴らせるようになるそうですが、滑川消防署が所属する富山県東部消防組合の各消防署管内では、もともと一斉サイレンがなかったそうで、現場からは無くて支障が無いとの指摘もあります。全国的なトレンドであり、団員の招集を携帯電話に頼る事例も増えているそうです。
⑬ 公民館前の道路	前々から指摘してきたが、この西加積地区公民館前の道が、ガタガタだ。いつになったら良くなるのか。	ご指摘の道路は、実際はかなり状態が悪く、補修が必要な市内の道路の中でも、かなり優先度が高い方です。より優先度の高い補修案件が片付き次第、すぐに取り掛かりますので、もうしばらくの間だけ、お待ちください。
⑭ GO!5・0!がん検診	上田市政が始まって以来、中学卒業までの子どもの医療費無料化など特色ある事業を県内他市町村に先駆けて展開され、ありがたい。若者世代の転入にもつながっていると思う。一方、GO!5・0!がん検診は、5歳刻みでなく、3年刻みで50～65歳を対象にするなど、他市町村より、捻りを加えた施策にしてほしい。	現状は5歳刻みですが、各自治体独自の刻み方も可能です。予算の都合もあり、また、人によっても都合の良い刻み方は異なってくると思いますが、前向きに検討したいと思います。
⑮ GO!5・0!がん検診	市広報誌を見て判然としなかった点だが、5歳刻みのGO!5・0!がん検診だが、5の倍数でない年齢の人は対象外なのか。	70歳以上の方は、もともと無料クーポンが無くとも自己負担ゼロで、がん検診を受けます。市広報誌の表記が不明瞭だったと思われるので、今後、改善します。